

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第1回金谷区地域協議会

### 2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和4年度地域活動支援事業の完了について（公開）

### 3 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

### 4 開催日時

令和5年4月26日（水） 午後6時から午後7時2分まで

### 5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

### 6 傍聴人の数

0人

### 7 非公開の理由

—

### 8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：村田敏昭（会長）、石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、小林雅史、  
高橋敏光、高橋 誠、高宮宏一、平良木美佐江、益田侑季（欠席5人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

### 9 発言の内容

#### 【難波主任】

- ・ 川住副会長、山井副会長、神崎委員、長委員、土屋委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

#### 【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：大瀧委員と石川委員に依頼

次第2議題の確認等について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了について —

【村田会長】

次に、次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了に入る。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・当日配布資料No.1により説明

【村田会長】

- ・事務局の説明に質疑を求める。

【石川委員】

昨今では物価が上昇しているが、申請時と同じ材料で値上がりした場合、補助金の増額は認められるのか。

【難波主任】

材料費が高騰して金額が上がった場合であっても、交付決定額を超えて補助とすることはない。

【村田会長】

他に質疑を求めるがなし。

以上で、次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了についてを終了する。

— 次第4 議題（1）地域活性化の方向性について —

**【村田会長】**

次に、次第4 議題（1）地域活性化の方向性に入る。

前回、前々回と2グループに分けてグループワークをした。その結果をまとめているので、資料に基づいて事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

・当日配布資料No.2により説明

本日の会議では、グループワークで出た意見等を参考にしながら、地域活性化の方向性の下段の部分にあたる構成要素の具体的な文言等について協議していただきたい。

**【村田会長】**

今ほどの説明について、質問、意見を求める。

この資料をもとに構成要素の文章について皆様と検討協議をしたい。意見等があれば言っていて、構成要素の文章を決めていきたいと考えている。

1班、2班がまとめたものを全体で取り決めていくということになるかと思う。

構成要素は、和田区や有田区の方向性を見ると大体五つか六つぐらいでまとめている。

**【小林委員】**

今日のこの会議で、もう原案を決めるのか。

**【村田会長】**

事務局との打合せでは、皆様から意見をいただいて、こういうのがいいねというようなものを要素として取り入れながら、最終的には、今日の会議の結果を基に正副会長とで案を決めて、それをまた皆様に諮るというやり方がよいのではとなった。

**【小林委員】**

前回の資料を丁寧にまとめていただいて、同じような作業をここ何回か繰り返している感じもする。意見は、もうほぼ出揃っている状態なので、ぜひ、ここで八割がた固めたいと思っている。それで、前回、2班は私が説明したが、まず、このタイトルを2班から提案したが、1班の構成要素を見てもそんなに違和感はないかと

思う。大筋はこのタイトルでよいかどうか、まず決めて、その上で、他の区の構成要素も見ているが、こういう抽象的なものでよいのか、それとも、もう一步踏み込んで具体的なものを作り込んでいくのか、五つにするか六つにするか、その辺をさっと決めていったほうがよいと思うので、そのような進行をお願いしたい。

**【村田会長】**

承知した。小林委員から話があったように、当日配布資料No.2の2班の下段に、金谷区の活性化に向けたタイトルがある。これを金谷区の地域活性化に向けてということで、他の和田区、有田区、柿崎区等のように、上段の見出しに入れる文言として2班ではこのように取りまとめたが、1班の方々が考えていることと差異はないように思う。「金谷区のシンボル金谷山を中心とした自然、歴史、文化を生かし、人、アイデア、活動がつながる地域を目指します」これをタイトルの一つの案として、皆さんいかがか。

**【加藤委員】**

最初に発表を聞いたときから、1班と2班が考えを共有しているのではないかと感じたので、この内容でよいと思う。

**【高橋敏光委員】**

一つにまとめるのは難しいが、思いは皆さん一緒だと思う。活性化に向けたタイトルに「自然、歴史、文化」やアイデアとあるが、金谷地区は面積が広いので、一つに絞るとか二つに絞るのは、なかなか難しい問題だと思っている。金谷山を中心といっても、金谷山の中には、大変な数の歴史や碑石が残っている。正善寺ダムや南葉高原キャンプ場、滝寺不動などの場所があるが、私の町内でも、弁天の池があって歴史があるが、その辺をまとめるのも難しい。今日、金谷区の地域活動団体がレルヒと金谷山の歴史の本を刊行したという話を聞いた。そのように場所を指定すれば絞ることができると思うが、全体を一つにするというのは、なかなか難しい問題である。これを皆さんと一緒に話をしても、一回では済まない。資料の中にヨードル金谷やその中にクラフトビールの工場を作ったほうがよいのではないかとあるが、これらを歴史観光マップでまとめてPRしていけばよいのではないかと。

**【高橋誠委員】**

これでよいと思う。問題はタイトルの中の「金谷区のシンボル金谷山」というのが適切かどうかである。これだけ引っかかるような気がする。金谷区の中のシンボルは、金谷山でよいのかどうかというのが気になる。

**【高宮委員】**

大変よくまとめていただいている。各部分については、各班で大体共通していることから、これでよい。

**【平良木委員】**

話し合いの手順としては、下の構成要素を決める前に何を目指すかという方向性を話し合っ、そこで、そのためにどうしていくかということ構成要素として入れるのがよいかと思っている。それで、物を五つ挙げていくとか、そのポイントを五つ上げるのではなくて、視点を五つ挙げていくというか、私たちがどういう視点で取り組んだらよいかを五つ挙げればよいのではないか。全体を通す考え方、視点で方向性の一番上のタイトルに目指すものを入れるべきと考えていて、その目指すものを達成するための方策を五つ上げるというふうに考えていた。どの場所でも、どのポイントでも、くくれるのではないかと思う。それから、タイトルについて、今、高橋委員がおっしゃったように金谷区のシンボルとして金谷山を入れるかどうかである。「金谷山」を抜いて「金谷区の自然・歴史・文化を生かした」としたほうがよいのか、私も悩んでいるところである。

**【益田委員】**

1班で話し合いをした時に、最初に出てきた言葉が金谷山で、金谷山から付随して、いろいろな言葉を上げていった。両方の班で共通することは金谷山であることから、私はこのタイトルがよいと思っている

**【村田会長】**

大方は、このタイトルがよいのではないかという意見だが、平良木委員も言われたように、金谷区のシンボル金谷山、この文言について、高橋誠委員も指摘されているが、本当に金谷区のシンボルは金谷山なのか、再確認をしておく必要もあろうかと思う。

**【小林委員】**

金谷山という文言を入れるかどうかは後にして、まず、大筋はこのタイトルでいくか、いかないかだけ決めたらどうか。その上で、構成要素を五つか六つ決めた中で、最終的にこの金谷山がふさわしいか、ふさわしくないかをその次の段階で決めるべきかと思う。今のタイトルを80点ぐらいとして、まず、採用するかしないか。いかがか。

**【村田会長】**

皆さんいかがか。おそらく80点はいただいたかと思うので、こういう方向性でいく。ただ、小林委員が言われたように、「シンボル金谷山」は、もう少し考えてみることにして、このタイトルとするということで、皆様方の承認をいただきたいが、どうか。

- ・2班のタイトルを採用することとしてよいか諮り、承諾を得る。

「シンボル金谷山」という文言を残すかどうかは、正副会長と事務局で協議し、後日諮ることとする。構成要素は、平良木委員が言われたように、このタイトルを具現化するための施策や方策を五つか六つ入れるということによいか。

**【平良木委員】**

そうである。金谷山や正善寺といった物ではなくて方策を入れるということである。

**【村田会長】**

構成要素というのは、2班では資料のタイトルの上に書かれているそれぞれのものだが、他区の構成要素を見るとそんなに具体的なものはないが、それについて意見を求める。

**【小林委員】**

ホワイトボードにキーワードを書いていたが、よいか。平良木委員が言われたように、どうやって構成要素を具体化、現実化させていくかということからすると、私が思いついたのは、施設も歴史もそうだが、今現在あるものを生かそうというのが一つである。次に、何が欲しいのかという話で、さらにいろいろなアイデアが生まれて、それを具体化していくためのネットワーク化や金谷区の一体化といったゴールに向けて全てがつながる。その活動が繋がって流れていくことがゴ

ールという気がするので、今現在あるものから、次に欲しいものをアイデア、ネットワーク、つながる、金谷区の一体化という枠の中で、今ある施設や名所などを取り込めるのか。そんな流れとすればよいかと思っている。

**【滝澤副所長】**

小林委員がホワイトボードに書いてほしい意図は何か。

**【小林委員】**

キーワードである。今あるものを生かしていくというのがどうなるかわからないが、順序として、次ステップでどうしたいか。いろいろなアイデアを具体化していくためにいろいろな団体が連携してネットワーク化されてというようなことで、一つは4番目か5番目くらいに「つながる」ということをキーワードとしてほしい。もう一点は、金谷区の一体化である。例えば、今あるものを生かしていくという中から、ヨーデル金谷やいろいろな史跡、BMX場、そこに現在ある施設や、活動されている団体とか、そういう要素が肉付けとして入っていくのかと思っている。

次のステップとしては、公民館ができる。先ほど話もあったが、儀明川ダムができるといったことや、将来的には道の駅がほしいようなこと、そのようなアイデアも含めて次のビジョンが生まれてくる。また、今あるものを生かしていくことにつながるが、様々な活動をしている団体の方々が、人材不足などといった問題があれば、若者たちがサポートするなど、そのような各団体とのネットワークである。さらに、このような活動を通じて、金谷区の一体化を深めていくというようなことで、人、アイデア、活動がつながる地域というところに帰着するのと思う。

平良木委員にお聞きしたいが、単純に5個、6個と独立した構成要素を並べるイメージなのか。それとも、ある程度ストーリーが流れていく順番に並べるイメージなのか。

**【平良木委員】**

最初の段階から発展的に、時間的な経緯を入れるということを小林委員がおっしゃったが、私はそのようなことはあまり考えなくて、最初に方向性の案に書いたとおりで、一つ目は地域で現在やっている地域住民が主体となった環境整備活動の推進、二つ目は、一番下の方の地域活性化を目指す諸団体のネットワーク化、三つ目

は、施設の充実と利用促進、四つ目は、自然を生かした食材や資材の開発と活用の促進と考えて、五つ目は、体験活動のイベントの開発というものを最初に考えた。

**【小林委員】**

今のものを生かしていくことや様々なアイデアを結びつけて、その活動を発展させるとか継続させるということがポイントではないか。それを今、最終的にここでいう人とアイデア、活動がつながるということを最初に目指すところで定義している。それをどうつなげるのかという方策として、いろいろなアイデアが必要であり、ネットワーク化や情報発信も必要というところで、何か結びつけられないか。

また、今回の資料は、個人が出した提案をまとめたものである。それをもう一度砕いて分けるのか。そうすると、最終的に固有名詞の塊になってしまう。そのため、提案を大きく括った上で、その下に個々の意味合いを補足していくようなことができればよいかと思っている。例えば、先ほどの今あるものを生かしていくということのためは、環境整備活動を行っている団体の人たちの助けが必要である。そういう活動をサポートしていかなければならないということも含めてである。今あるものを活動している人たちの活動そのものという広義で考えれば、生かす、継続するということが括れないか。

**【高橋誠委員】**

小林委員の言われていることはわかる。教えていただきたいのだが、地域活性化の方向性が完成したその後はどうするのか。方向性を出して終わりなのか。それとも、これを出した後で、細部に渡ってこうしたい、ああしたい、こうして欲しいというのができるのかどうか。その辺をお聞かせいただきたい。

**【難波主任】**

完成した方向性については、地域協議会における地域の活力向上に向けた議論にお役立ていただくとともに市の取組の参考とし、市のホームページに掲載して市民の皆さんに周知する。また、地域協議会だよりで金谷区内に全戸配布して、地域の皆さんにも知っていただく。市長にも地域政策課を通して方向性を報告し、情報を共有することになっている。

**【高橋誠委員】**

例えば、平良木委員の言われた地域住民が主体となった環境整備活動の推進というのをうたい文句にして、具体的に一体何をやるのかという意見は、地域協議会としては出さないということか。それとも、例えば、金谷山マップを作りたいとか、あるいは、正善寺の観光を少し具体的に進めたいという意見は、その後はないということよいか。

**【難波主任】**

地域協議会が実施主体となることはできないと考えている。完成した後は、例えば、地域の団体で実施を引き受けてくれる方がいるかいないかを議論し、お願いできそうなところがあれば、意見交換等をしていくということが考えられ、次につながっていくと思っている。

**【高橋誠委員】**

承知した。そうであれば、構成要素はあまり具体的に書くべきではない。従って、先ほど平良木委員が言われた、五つの漠然としたものが一番よいのではないかと、う気はするがいかがか。

**【村田会長】**

私もそうだと思う。方向性を出すための構成要素のような気がするし、具体的にマップを作るだとか、そのようなビジョンを具体化して書いても絵に書いた餅となるような感じがしないでもない。今、ホワイトボードに書かれたものを取りまとめればよいと思うが、皆さんどうか。

**【小林委員】**

先ほど、高橋誠委員が言われたように、次のステップをどうするかについて、何も実現しないようなことを我々は考えているわけではないと思う。地域協議会は、実施団体にはなれないが、いろいろなところと情報共有しながら、次の金谷区をどうしていきたいかを今考えているわけである。だから、例えば、今後の公民館のこともそうだし、欲を言えば道の駅もそうだし、地域協議会として、こういう金谷区の将来を考えているということは、もっとしっかりアピールしなくてはいけないし、「道の駅を作ってください」と陳情してもよいと思う。それぐらいの思いで次のビジョンをこういうふうに考えたのだとアピールし、それに賛同してくれる人たち

と一緒に活動していこうというところは、もっと積極的でよいかと個人的に思っている。

**【村田会長】**

今回、小林委員や平良木委員からいただいた提案事項を基にして、もう少し煮詰める必要があるかと思うが、いただいた意見を取りまとめ、文章化したものを次の会議で話し合うとすることで事務局、どうか。それとも、今日決めなければならないか。

**【難波主任】**

今日の時点で決めるということはまだ考えていないので、いただいた意見を整理して、構成要素の案とするか正副会長と相談し、次回お示ししたい。

**【平良木委員】**

この中に情報発信という文言が抜けている。皆さんの意見の中には情報発信という視点もあるので、それも一つの選択、方策の一つにはなるのかと思う。魅力発信とか情報発信みたいなものも一つの視点にはなるかなと思う。この中から五つ、上手に組み合わせ、皆さんの意見をまとめていただければよいかと思う。

**【村田会長】**

よろしいと思う。どうしても五つでなければならないということではないと思っている。互いに意見を交わしながら構成要素へつなげていくということで、今、事務局が言ったように、これを基に構成要素の原案を取りまとめて、もう一度、皆様方にお諮りして進めるということではいかか。

・次回の会議で方向性の原案を示し協議することとしてよいか諮り、承諾を得る。

以上で、次第4 議題（1）地域活性化の方向性を終了する。

— 次第5 その他 —

**【村田会長】**

令和5年度の広報編集委員の確認をする。令和4年度は、高宮委員、長委員、土屋委員の3人をお願いした。令和5年度については、名簿順に平良木委員、益田委

員、石川委員にお願いします。

## — 次第6 事務連絡 —

### 【村田会長】

次に、次第6「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

### 【滝澤副所長】

- ・ 第2回地域協議会：令和5年5月31日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 第3回地域協議会：令和5年6月28日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 当日配布資料：

和田区、有田区、柿崎区、中郷区地域協議会の地域活性化の方向性

柿崎区地域協議会の意見書

上越市第7次総合計画 本編、ダイジェスト版

創造行政研究所 ニュースレター

ウィズじょうえつからのおたより

### 【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

- ・ 会議の閉会を宣言

## 10 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。